

球磨ブロック社協
災害ボランティアセンター設置訓練

球磨郡市の社協職員とボランティアの参加で、大規模災害を想定した災害ボランティアセンター設置訓練を実施しました。

この訓練は「球磨ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定」に基づき毎年行っているもので、9回目となる今年も、人吉市を会場に、災害ボランティアの受け入れなどマニュアルに沿ったセンターの運営を行う「災害ボランティアセンター設置訓練」、球磨郡市の地域婦人会（日本赤十字社地域奉仕団）やボランティアによる特殊な袋で炊くハイゼックス炊飯と



お湯もしくは水を入れるだけで食べられるアルファ米を使用した「炊き出し訓練」に分かれて行われました。また「展示コーナー」を設置して、災害ボランティアが活動時に使用する備品等が展示されました。

多良木町は災害ボランティアセンター設置訓練を担当しましたが、災害発生時を想定して、訓練会場周辺に車で移動し、実際に被災地でも依頼の多い土のう作り体験を実施しました。ご参加いただいたボランティアや地域婦人会の皆さまご協力ありがとうございました。

いきいきサロンと中学生の交流会

多良木中学校三年生 104名の生徒が、地域の高齢者の方と交流することで「福祉」について考える機会とするとともに、豊かな心を育成することを目的に、町内で行われる10地区のいきいきサロンにご協力いただき交流会が行われました。

交流会の内容も各サロンで工夫され、町内でも取り組みが盛んになってきている、ガンバルーン体操やいきいき100歳体操などの体操をはじめ、グラウンド・ゴルフ、自主防災組織講話、紙粘土、栄養士の講話と調理実習、輪投げ、書道と屏風づくりなど様々でした。

最初は緊張した面持ちだった中学生も、サロン会場での活動とその後の茶話会などを通して、笑顔があふれる、和やかな交流会となりました。



認知症サポーター養成講座



多良木中学校3年生を対象として認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症についての正しい理解や「若年性」認知症についての事例の紹介、認知症サポーターの役割などを真剣に学ばれました。その後は認知症の介護者家族の体験談をつづった映像を鑑賞し、認知症の人、介護者家族の気持ちをそれぞれ考えていただきました。

受講後には「認知症に色々な種類・症状があることが分かった。」や、「認知症の人が驚かれないように声をかけるなどを学んだので、相手の立場になって優しく接したい。」との感想が聞かれました。

最後に受講した中学生に認知症サポーターの証としてオレンジリングが手渡されました。

次の方々から社会福祉のために
とご寄付をいただきました。
皆さまの温かい善意に感謝申し上げます
ととも、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。
(敬称略・受付順)



- 恒松 市五郎(故 嘉素子) 多10区の2
- 那須 晃 美(故 大瀨 正) 久6区
- 豊永 敏 子(故 求) 久8区
- 宮原 勝 子(故 清隆) 久11区
- 組島 まゆみ(故 ミエ) 多7区の1
- 小田 康 宣(故 キクエ) 多3区の2
- 久保田 一 實(故 澄江) 多10区の2
- 宮村 爲 幸(故 ハマ子) 多1区の2
- 益田 岩 男(故 モリヨ) 黒5区
- 甲斐 チズ(故 利文) 黒西4区
- 藤井 靖 代(故 林田マサ子) 多6区の3
- 溝邊 奈緒美(故 悦子) 久5区